

健康長寿に係るイチオシ事業 杉戸町 ～すぎと健康アカデミー事業～

(1) 事業概要

杉戸町総合振興計画において「手を取り合い 未来を築こう みんなでつくる 心豊かに暮らせるまち 杉戸 ～住みごこち100%のまちづくり～」が目指す将来像として定められている。この実現に向けて、6つの基本施策があり、その柱の1つが「みんなに優しく、思いやりのあるまち」であり、その中で「自らの健康づくりの推進」として、住民が主体となる健康づくりを進めていくこととされている。

杉戸町では、住民自らの手で健康づくり事業を展開することを狙いとして、健康について幅広く学ぶことのできる「すぎと健康アカデミー」を実施している。個人の健康づくりにとどまらず、地域の健康づくりの担い手を養成することにより、住民全体の健康長寿のまちづくりを推進している。

(2) 契機

(ア) 高齢化率の上昇

杉戸町の総人口は減少傾向にあるが、高齢化率については増加傾向にある。平成29年10月1日現在の高齢者数は13,815人、高齢化率は30.3%となっており、今後も高齢化率は上昇していくことが予想されるため、健康寿命の延伸に向けてさらに取り組みを進めていく必要がある。

高齢化の推移と将来推計

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
	国勢調査人口				将来推計人口				
総人口	47,336	46,646	46,923	46,529	45,617	44,203	42,368	40,213	37,936
高齢化率	12.4%	16.4%	22.0%	27.6%	30.9%	32.1%	33.0%	34.4%	37.4%
高齢者人口 (65歳以上)	5,854	7,673	10,327	12,844	14,118	14,205	13,966	13,847	14,203
前期高齢者 (65～74歳)	3,629	4,811	6,529	7,778	7,302	5,722	4,999	5,388	6,267
後期高齢者 (75歳以上)	2,225	2,862	3,798	5,066	6,816	8,483	8,967	8,459	7,936

平成22年までは国勢調査／平成27年以降は「日本の市町村別将来推計人口(平成25年3月推計)」

(イ) 健康診査・がん検診受診率の低迷

広報・ホームページ等の媒体を利用した周知や個別受診勧奨通知等に積極的に取り組むことにより、受診率の向上を目指しているが、まだまだ国の目標値には届かないのが現状となっている。

生活習慣病の早期発見・早期治療の観点から、健康診査・がん検診受診率の向上や、若年層からの新規受診者の拡大や継続受診者の拡大を図るための手段を構築することが必須となっている。

様式 1

(ウ) 健康づくり事業によるまちづくり

町民ひとり一人の健康長寿の実現のためには、個人の健康づくり活動に留まらず、そこから家族・周囲の人にも役立つ健康づくりへ、さらには地域における人とのつながりによる健康づくりを推進していくことが必須である。

そのために、地域の健康づくりの担い手となる人材を育て、住民と行政が協働で「健康長寿のまちづくり」の実現を目指していく必要がある。

(3) 内容

事業名	すぎと健康アカデミー事業
事業開始	平成26年度
事業概要	<p>第5次杉戸総合振興計画基本施策の「自分の健康は自分で守る」の柱に基づき、すべての町民が健康で元気に暮らせるよう、健康づくり事業を統括的に展開する。</p> <p>町民が自らの健康を振り返ることにより「健康づくり」に向けた意識を持つことができるよう健康知識の普及啓発を行い、さらに、健康意識の高い町民の拡大を図り、「健康長寿のまちづくり」に行政とともに取り組み、地域への健康情報の発信源となる人材を育成することを目的としている。</p>

	令和元年度	【参考】平成30年度
予 算	125千円 ・講師謝礼 60千円 ・委託料 17千円 ・消耗品費 48千円	134千円 ・講師謝礼 80千円 ・委託料 17千円 ・消耗品費 37千円
参加人数	入学者 25人 修了者 25人(見込み) <新規受講者のみ対象> 実人数は少ないものの半年かけて様々なテーマで学ぶことができ、延べ参加人数は420人の見込みと多くなっている。 また、特定保健指導としても活用しており、上記とは別に実人数37人、延べ人数72人受講の見込みとなっている。	入学者 22人 修了者 21人 <新規受講者のみ対象> 実人数は少ないものの半年かけて様々なテーマで学ぶことができ、延べ参加人数は342人と多くなっている。 また、特定保健指導としても活用しており、上記とは別に実人数23人、延べ人数47人受講した。
期 間	令和元年9月～令和2年3月	平成30年9月～平成31年3月

<p>実施体制</p>	<p>健康意識の高い町民の拡大を図り、「健康長寿のまちづくり」に行政とともに取り組み、地域への健康情報の発信源となる人材を育成することを目的とする。今年度で第6期生となる。</p> <p>■対象：健康づくりに関心のある20歳以上の町内在住の方</p> <p>■事業内容</p> <p>幅広い視点から健康に関する知識の習得を目指し、卒業後には学んだ知識を活かし、行政とともに地域の健康づくりに取り組む人材を育成する。</p> <p><講座について></p> <p>① 9月～3月に健康講座を実施する</p> <p>② 1講座を2単位とし、自由に講座を選択する</p> <p><修了について></p> <p>① 全26講座中、7講座（14単位）以上取得した者に修了証書を授与する。</p> <p>② 修了課程として、「健康長寿のまちづくりのために、いま、私ができること」をテーマにレポートを提出する。</p> <p><サポーター等について></p> <p>興味のある分野を選択し学びを深め、卒業後には各サポーターとなって活躍できる人材を育成するよう各コースを設置する。</p> <p>各養成講習の科目を履修した者には、所定の手帳や証明書等を授与する。</p> <p>① 健康長寿サポーター（埼玉県知事任命）</p> <p>② がん検診サポーター（埼玉県知事任命）</p> <p>③ 自殺対策ゲートキーパー</p> <p>④ ヘルスマイト（杉戸町食生活改善推進員養成）</p> <p>⑤ ときめき健康推進員</p> <p style="text-align: center;">（埼玉県県民健康福祉村 市町村支援事業）</p> <p><公開講座></p> <p>すぎと健康アカデミーのメニューの中で、各種講演会については公開講座として、広く住民の方が参加できるものとなっている。</p> <p>① 医療講演会</p> <p>② 歯科講演会</p> <p>③ 食育推進講演会</p> <p>④ メンタルヘルス講演会</p> <p>■ 事業日程</p> <p>開講科目：5ページのとおり</p>
-------------	--

実施体制

<開講式の様子>



<体力測定の様子>



<健康長寿サポーター講習の様子>



令和元年度 すぎと健康アカデミー日程表

日	曜日	時間	講座名	会場	講師	単位数	ヘルスマイト養成コース	ときめき健康推進員養成コース
9月20日	金	10:00~12:00	開校式・オリエンテーション	保健センター				
1	9月27日	金	10:00~12:00	卒業生による健康長寿サポーター養成講習 (受講申込書回収日)	基礎講座(聴講) 保健センター	すぎと健康アカデミー 卒業生 ほか	4	◎
2	10月10日	木	9:30~12:00	杉戸宿めぐり 杉戸宿コース	運動(実技) 集合:中央公民館	杉戸宿案内人	2	
3	10月25日	金	9:00~12:00	杉戸宿めぐり 御成街道コース	運動(実技) 集合:和戸駅 改札口	杉戸宿案内人	2	
4	10月29日	火	10:00~11:30	ヘルストレーニング教室① からだのしくみ(骨格・筋肉)と痛みについて【肩こり・腰痛・膝痛解消体操】	運動(実技) 保健センター	保健師・ 健康運動指導士	2	☆
5	10月30日	水	10:00~12:00	体力測定	運動(実技) 保健センター	県民健康福祉村 (ときめき健康推進員)	2	◎
6	11月7日	木	10:00~12:00	体力測定結果説明会(測定者対象)	運動(実技) 保健センター	県民健康福祉村 (ときめき健康推進員)	2	◎
7	11月11日	月	10:00~11:30	ヘルストレーニング教室② からだのしくみ(骨格・筋肉)と痛みについて【肩こり・腰痛・膝痛解消体操】	運動(実技) 保健センター	保健師・ 健康運動指導士	2	☆
8	11月12日	火	14:00~15:30	医療講演会「タバコの害とがんについて」	基礎講座(聴講) 保健センター	医師	4	◎
9	11月17日	日	9:30~14:00	いきいきスポーツイベント(杉戸宿ウォーク2019)	運動(実技) 集合:杉戸小学校	杉戸町総合型 スポーツクラブすぎスポ	2	
10	11月19日	火	10:00~13:30	ヘルスマイトの料理教室【体によい青魚をとろう】	栄養(実技) 保健センター	食生活改善推進員	2	◎
11	11月27日	水	13:30~15:30	ノルディックウォーキング講習会	運動(実技) エコ・スポいずみ 多目的スペース	杉戸町総合型 スポーツクラブすぎスポ	2	
12	11月29日	金	10:00~11:30	ヘルストレーニング教室③ 毎日貯筋☆めざせプチマッスル【筋カトレーニング】	運動(実技) 保健センター	保健師・ 健康運動指導士	2	☆
13	12月12日	木	13:30~15:00	歯科講演会【オーラルフレイルを予防しよう～おすすめの口腔ケア～】	基礎講座(聴講) 保健センター	歯科医師	4	
14	12月13日	金	10:00~11:30	ヘルストレーニング教室④ 知っていますか?脂肪燃焼に効果的な心拍数【有酸素運動】	運動(実技) 保健センター	保健師・ 健康運動指導士	2	☆
15	12月16日	月	14:00~15:30	食事バランス教室【意外と知らないコレステロールと食事の関係】	栄養(聴講) 保健センター	管理栄養士	2	○
16	12月23日	月	10:00~12:00	ときめき健康推進員養成講習①	運動(実技) 保健センター	県民健康福祉村	2	◎
17	12月24日	火	10:00~12:00	ときめき健康推進員養成講習②	運動(実技) 保健センター	県民健康福祉村	2	◎
18	1月9日	木	10:00~12:00	ときめき健康推進員養成講習③	運動(実技) 保健センター	県民健康福祉村	2	◎
19	1月20日	月	10:00~11:30	ヘルストレーニング教室⑤ 怠け者でもできる座ってストレッチ【ストレッチ体操】	運動(実技) 保健センター	保健師・ 健康運動指導士	2	☆
20	1月24日	金	10:00~13:30	生活習慣病予防の料理教室【賢く食べて血液サラサラ【コレステロール対策】	栄養(実技) 保健センター	管理栄養士	2	◎
21	1月28日	火	14:00~15:30	食事バランス教室【今日からできる高血糖予防のコツ】	栄養(聴講) 保健センター	管理栄養士	2	○
22	2月4日	火	14:00~15:00	食育推進講演会【骨・カルシウムセミナー】	基礎講座(聴講) 保健センター	雷印メグミルク(株)栄 養士	4	◎
23	2月6日	木	10:00~11:00	メンタルヘルス講演会(ゲートキーパー養成講座同時実施)	専門講座(聴講) 保健センター	臨床心理士	4	
24	2月13日	木	10:00~13:30	ヘルスマイトの料理教室【バランスのよい高齢期の食生活】	栄養(実技) 保健センター	食生活改善推進員	2	◎
25	2月17日	月	13:30~15:30	がんについて知ろう(がん検診サポーター養成講座) 修了式に向けてのオリエンテーション	専門講座(聴講) 保健センター	保健師	4	◎
26	2月25日	火	10:00~11:30	ヘルストレーニング教室⑥ 筋トレ・有酸素・ストレッチ総集編【リズムに合わせて】	運動(実技) 保健センター	保健師・ 健康運動指導士	2	☆
	3月予定		修了式	保健センター				

・予定は、変更になる場合があります。

・修了には、14単位以上(うち「運動(実技)」で4単位以上)の履修が必要。

・ヘルストレーニング教室①~⑥:参加される場合は、なるべく全6回を履修。1回でも可。

・ヘルスマイト養成コース:「◎基本科目」の履修が必要。☆・○については、それぞれひとつ以上を選択。

(その他の講習についても希望があれば参加可能。)

・ときめき健康推進員養成コース:◎の履修が必要。(その他の講習についても希望があれば参加可能。)

【基礎講座】医師・歯科医師等による健康づくりに関する講座です。
【専門講座】テーマを絞り専門性の高い聴講を主とした講座です。
各種サポーター養成講習も行います。

様式 1

＜周知方法と参加者の掘り起こし＞

本事業の周知は、広報すぎと、ホームページ等をとおして広く募集を行うほか、下記の周知により参加者の掘り起こしを行う。

- ・がん検診時に、受診者へチラシを配布し周知する。
- ・国民健康保険加入者のうち、特定健康診査（集団）受診者および特定健康診査結果がメタボ該当・予備軍となった方へ、特定保健指導としてアカデミーを活用していただき、生活改善のきっかけづくりを呼びかける。
- ・介護予防サポーター等、すでに他部門で地域の健康づくりに自主的に取り組んでいる方へ参加を呼びかける。

＜協力依頼部署および団体による連携事業＞

社会教育課：ウォーキング教室／商工観光課：すぎと宿案内人 杉戸宿めぐり

健康支援課 食生活改善推進員：ヘルスマイトの料理教室

埼玉県県民健康福祉村：ときめき健康推進員養成

（４）取組の効果

		令和元年度（実施中）	平成30年度
アカデミー		入学生 25人	入学生 22人
		40歳代 2人 50歳代 4人 60歳代 12人 70歳代 7人	修了生 21人
30年度修了生のうち 各種資格取得者数 (既取得者を除く)		健康長寿サポーター 9人 がん検診サポーター 14人 自殺対策ゲートキーパー 15人 ときめき健康推進員 6人	
卒業後の 活動	健康づくり事業 協力希望者	食に関すること 5人 運動に関すること 4人 がんに関すること 3人	・食生活改善推進員加入 1人 ・ときめき健康推進員 1人 ・心の健康に関すること 3人
	現在活動中の サポーター・ ボランティア の継続	げんきSUGI体操サポーター 1人 出前いきいき体操サポーター 1人 ファミリーサポート提供会員 1人 母子愛育会 1人 町民大学OBサポート 1人 他5人	

（ア）健康づくりへの意識の変化

アカデミー入学生は、基礎講座（聴講）、栄養（実技）、運動（実技）など各種講座を受講することにより、健康についてさまざまな知識を身につけることができ、また、自分自身の生活を振り返る良い機会となっている。卒業時には、「健康」だけでなく「自分の住む 杉戸町」への興味関心を高め、積極的に健康なまちづくりに関わるというように意識を変えることができ、事業の実施による効果が得られたと考えられる。

**参加者の声…「健康長寿のまちづくりのために、いま私ができること」
修了課題レポートより（平成30年度修了者）**

- ◎自分が健康に毎日過ごしていると、家族や周りの人も少し良くなってくると思う。
地域でとれた野菜や果物を食し、町の活性化につながればと思う。
人と人とのつながり、会話の大切さにも気づいた。
- ◎健康であるためには、栄養バランスに配慮した食事、体操、そして人々とのふれあいが重要であると学びました。
みんなが健康であることが、自身の健康につながると思うので、身近な家族に、そして知人に広められるよう心がけたい。
- ◎自分自身が健康であるように必要な知識を深め、実践し、得た知識を家族にも伝えること、自分の住んでいる地域についてよく知る事、さらに身近な友人・知人にも機会があれば「すぎと健康アカデミー」をお勧めする事、何よりも生き生きと毎日を生きる事。
- ◎生活習慣を見直すきっかけとなった。自分を知ることで、早期発見になり、いろんなことに関心が深まった。ラジオ体操をしたり、健康マイレージ歩数計をつけてポイントを貯めたりしている。
- ◎まずは、自分自身の健康維持に努め、多くの方々が、住みよい町・健康な町だと認識できる一人一人あればと願う。
- ◎勉強という形で健康について学ぶことができ、みんなで楽しくというのは一人では得られない体験だった。これからも一歩前に踏み出す気持ちを周囲に伝えていけたらと思う。
- ◎まずは私自身が健康であること、一番身近な主人の健康を考え、バランスのよい食事を作ることに心がけている。
- ◎自分の健康を意識するようになった。がん検診が必要だということを知った。
- ◎自分や家族等健康づくりに向かいたいと考えている。
- ◎お友達に、すぎと健康アカデミーという講座があるよ、良いことを学んだよと伝えたい。
- ◎まずは自分で気を付け、行動・実践しようと思う。がん検診は一人ではなかなか受けないので、友人に声かけし、杉戸町の受診率アップを図りたい。
自分の家族のみならず、近所の方と一緒に健康長寿を心がけていきたい。
- ◎半年で26回の各種講座があり、選択・柔軟性の良さや、講座のネーミングに惹かれて過半数の講座に参加した。参加者から、隣人・知人へのちょっとした声掛け、中身の問協をすれば、裾野は確実に広がると思う。声掛けは、アナログながら多くの人に伝わる最も手堅い「健康長寿のまちづくり」の拡散であり、実践につながるはず。
- ◎げんきSUGI体操、出前いきいき体操サポーターとしての活動をしており、会話の中に講座で聞いた役立つ話をしている。
- ◎「健康長寿」がクローズアップされている昨今、家族や友人に伝えてみたいと思った。
健康の大切さを忘れずに、生活していきたい。

様式 1

◎今実行していることは、バランスのとれた食事作り、運動、趣味。それにプラス、町や人に役に立つことがしたいと思っている。

◎なるべく多くの皆さんに声掛けをしているいろいろな行事に参加してもらい、精神的にも楽しんでもらうことが一番大事だと思う。町で色々な検診をやっているのでも、より多くの皆さんに行きたくらい、検診で助かった者として、お声掛けをしている。

(イ) 卒業後の活動等

介護予防サポーターとして各種教室の運営のほか、保健センター事業協力や健診補助スタッフとして活躍して頂いている。また、1期～5期卒業生の中から、アカデミー講座の中の「健康長寿サポーター養成講習」「がん検診サポーター養成講座」の際に、講師として活躍されている。また、平成30年度に新たに実施した「ときめき健康推進員」の養成により、6名中4名の方が令和元年度の「すぎと健康アカデミー」の体力測定や、NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポにて実施している体力測定の際にも、ボランティアとして活躍している。

卒業生によるがん検診サポーター養成時の講話（平成30年度）



(ウ) 他課との事業連携による相互の広がり

アカデミーの開催にあたっては、既存の保健センターの健康教育と他課が実施する健康づくり関連事業をアカデミー講座として組み込んでいる。各課で多様に実施している事業を、町全体の総括的な健康づくりへの取り組みという視点でつなげている。

また、平成30年度は、埼玉県県民健康福祉村の「ときめき健康推進員養成事業」を実施し、「ときめき健康推進員」に認定された方が、NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポにて実施している体力測定の際にも、ボランティアとして活躍しており、他課での取り組みにもつながっていくなど、広がりを見せている。

<体力測定内容> 5項目（令和元年度）

（握力、10m障害歩行、開眼片足立ち、長座体前屈、上体起こし）

※会場の都合により、例年実施している項目が1項目実施できず、5項目での評価

様式 1

- 20～64歳：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、急歩、立ち幅跳び
65～79歳：握力、上体起こし、長座体前屈、開眼片足立ち、10m障害歩行、
~~6分間歩行~~

(エ) 健康長寿サポーターなど県の事業とのコラボ

すぎと健康アカデミーの中で、健康長寿サポーターの養成講座やがん検診県民サポーターの養成講座を盛り込み、実施している。

健康長寿サポーターについては、令和元年度は48人養成（予定）しており、平成25年度～平成30年度までに認定されている437人と合わせ、計485人となる。

さらに、スーパー健康長寿サポーターについては、健康長寿サポーターへ個別通知にて案内し、令和元年度は7人が県から認定され、昨年度までに認定された方と合わせ、計23人となっている。

<健康長寿サポーター養成総数>

	令和元年度 (令和元年11月現在)
養成総数	485人

※令和元年11月現在 人口 44,834人

人口当たり100人に1人養成した場合の人数 449人

(5) 成功の要因、創意工夫した点

(ア) 幅広いカリキュラムとそれを自由に選択できることが魅力

半年間かけた幅広いカリキュラムとなっており、各種講座を自由に選択でき、興味を持った分野について、深く学ぶことができる。カリキュラムの中には、公開講座として、各種講演会を実施しており、アカデミー生だけではなく、広く住民の方が受講している。受講することにより、幅広い視点から健康に関する知識の習得することができるものとなっている。

また、講座の中にあるヘルストレーニング教室では、自宅でもできる体操のプログラム（パンフレット）を提供し、継続して取り組めるよう工夫している。

(イ) 仲間意識の芽生え

すぎと健康アカデミーの初日に開校式を行っている。学長である町長に、1人の参加者が入学生代表として、「健康づくりを目指していくことを宣言する」と挨拶をすることで、参加者の意識も高まっていると考えられる。

約半年間にわたるカリキュラムにより、顔を合わせる機会が多く、同じ思いで、健康づくりに取り組んでいるという仲間意識が芽生えることにより、さらに高め合い、継続した取り組みにつながっていくと考えられる。

また、予定されていたにもかかわらず欠席された場合には、担当から連絡し、継続して取り組めるよう、声かけをしている。事業参加時に、参加者は名札をつけ、担当

様式 1

者も積極的に名前を呼ぶようにし、関係づくりに配慮している。

(ウ) 他課事業や県事業とのコラボ

アカデミーの開催にあたっては、既存の保健センターの健康教育と他課が実施する健康づくり関連事業をアカデミー講座として組み込んでいる。各課で多様に実施している事業を、町全体の総括的な健康づくりへの取り組みという視点でつなげていくことができている。

平成30年度には、埼玉県県民健康福祉村の「ときめき健康推進員養成事業」を実施し、「ときめき健康推進員」に認定された方が、NPO法人杉戸町総合型スポーツクラブすぎスポにて実施している体力測定時、令和元年度にボランティアとして活躍するなど、さらに広がりを見せている。

また、公開講座として実施している医療講演会については、受動喫煙対策について、健康増進法の一部改正があったことから、住民の方に広く周知したいと考え、令和元年度は保健所との共催により「タバコの害とがんについて」をテーマとして、国立がん研究センターの高橋先生をお招きし、講演会を開催することができた。講演会の前には、保健所職員より、法改正による受動喫煙対策の変更点や埼玉県受動喫煙防止対策実施施設認証制度について説明し、受動喫煙に関する周知を図ることができた。

(エ) アカデミー卒業生の活躍

すぎと健康アカデミー卒業生に声かけをし、健康長寿サポーターやがん検診サポーターによる講座を行っている。同じ住民であるサポーターによる話は、より身近に感じられるものとなっている。

現在受講されている方が次年度にはサポーターとして、活躍していくことにより、継続した健康づくりの取り組みができ、さらには、地域の健康づくりに発展していくことにつながっていると考えている。

令和元年度には、新たに「ときめき健康推進員」として活躍されたり、食生活改善推進員として活動されたりする方もおり、活躍の場が広がってきている。

(6) 課題、次年度に向けて

(ア) 卒業生の活躍の場の広がり

すぎと健康アカデミー卒業生は、既にサポーターやボランティアとして活動されている方も多い。卒業後には、健康長寿サポーターやがん検診サポーターによる講座のほか、健康フェスタやがん検診のPR等、町民の健康づくりのために活躍されている方もいるが、ごく一部の方になっているのが現状である。

さらに卒業生の活躍の場を広げていけるよう、積極的に情報提供をしていきたい。

(イ) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業へのつながり

「埼玉県コバトン健康マイレージ事業」には、平成29年度より参加している（令和元年11月末現在参加者：924人）。住民の関心も高く、希望される方も多い一方で、継続して活用されていない方も増えているのが現状となっている。参加者は、

様式 1

健康意識の高い方が多いと思われるため、健康づくりを進めていく人材でもありと考
 えている。「埼玉県コバトン健康マイレージ」の参加者が「すぎと健康アカデミー」
 に参加したり、逆に「すぎと健康アカデミー」参加者が「埼玉県コバトン健康マイレ
 ージ」に参加したりといった良い相互作用が生まれるよう、事業を展開していきたい。

	令和元年度 (令和元年 11 月現在)
埼玉県コバトン 健康マイレージ参加者数	9 2 4 人



(ウ) 住民主体の健康な町づくりの推進

アカデミー事業を通じて、個人の健康づくり活動から、町全体の大きな健康づくりに発展できるよう、地域における健康づくりを展開してきた。

ヘルスプロモーションの理念を学び、卒業後には「健康長寿のまちづくり」に行政とともに取り組み、地域への健康情報の発信源となる人材となるよう呼びかけている。

今後も、町民と行政が互いの役割を認識し、手を取り合って「健康長寿のまちづくり」を目指していきたいと考えている。

【町民と行政が手を取り合って「健康長寿のまちづくり」をめざす】

町民

- ① 自分の健康を自分で守ることができ
- ② 家族の健康に気を配ることができ
- ③ 友人や地域に対し、健康づくり活動を進めていくことを目指します！

行政

- ① 健康づくりに必要な情報を提供し
- ② 個人から地域への健康づくり活動の広がりを支援し
- ③ 健康情報を発信できる人材が活躍できる体制づくりを目指します！

(7) 健康寿命

年度	男	順位	女	順位
H 2 9	1 7 . 7 2 歳	2 4 位	2 0 . 1 9 歳	4 6 位
H 2 8	1 7 . 6 2 歳	2 3 位	2 0 . 0 9 歳	4 5 位